

①概要

JA西都・JA宮崎中央

○ JA西都・JA宮崎中央では、R2年度から、施設園芸ハウスの暖房用重油タンクにセンサを設置し、重油残量を通信回線を利用して集積、分析して、重油の効率的な配送及び漏洩防止に活用。



装置ハウス全景

②サービス内容等

- 重油残量は、圧力センサを使い測定。
- データの通信は、JA西都はKDDIを利用し1日1回残量を送信。JA宮崎中央はNTT西日本を利用し、1時間毎に残量を送信。送信されたデータはクラウドに蓄積され、一元的に管理。配送計画に活用。
- 油漏れに繋がる流量異常時には、異常通報あり。
- 蓄積されたデータは、JA本店及び各農家からパソコンPC、タブレットやスマホ等で使用量・残量等を確認可能。
- 重油タンクに設置するセンサは、専用の電池を電源としており、配線は不要。電池は定期的に交換。（電池の交換は、機種、通信回数等の違いにより、JA西都は5年毎に、JA宮崎中央は1年毎に交換。）

③支援実績等

- R2年度から本格設置。JA西都では3分の2に設置が完了しており、R3年3月末までに設置完了予定。JA宮崎中央では4分の1を設置しており、R3年度末までに、全てのタンクに設置予定。



JA西都装置



JA宮崎中央装置

④課題・今後の展開等

- これまでは、職員が重油タンク1つ1つを見回り、残量を確認して補充していたが、集積されたデータを基に計画的に配送することが出来、業務の効率化やコストが削減。
- 油漏れの探知が可能なことから、油漏れによる重大事故防止に活用。
- 集積されたデータを関連情報とリンクすることにより、他の業務に活用が可能。

⑤連絡先等(事業者)

- JA西都 生活経済部 (0983-43-3113)
- JA宮崎中央 経済部燃料課(0985-89-4663)